

第4回小山田地域の里山環境活用拠点プランを考えるグループワーク記録

Aグループ				
選択したテーマ ③里山を楽しむことができる（木工体験や農業体験、環境学習に必要な）機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地域団体を作る 土地所有者 地域住民 高校生・大学生 NPO法人の設立(給料をとれる) 地元の大工さん ボランティア 地域団体及び民間事業者 町内会 地元で活動したいと考えている人 地元の農家さん	来訪者 市内の人 住民 市内の小中学生 地域の子ども	源流里山ツアー 里山体験だけでなく昔の暮らしの再現 木工体験ー森林伐採 薪割り 里山内を走る周回コース（トレイルラン） 里山の活用方法について考える施設 レストランや体験教室をここで開くのもアリ パーマカルチャー（自給自足生活）センターを 自然体験(山の下草刈り) オーナー制度苗木、トマト、ナス、椎茸ect 農業体験-種まき、育苗、収穫 料理、芋掘り、焼き芋、年間を通じたプログラ 日にちを決めて添乗員が地元の農家さんなどに 小山田地域を上小山田、下小山田さらに小さい 災害時に備えて生きる力を作る体験 焚き火 作品作り	源流公園の整備 食材・木材 都計道3・4・40号線 市道579号線 モノレール路線、小田急多摩線延伸などの事業 緑化の中の住宅・若い世帯、子どもを増やす テレワーク 将来の市役所用地の確保 区画整理の実現 土地の境界決定 場所・協力してくれる人 トイレ・駐車場 里山内の道の整備（アスファ みどりの中の市民会館	忠生579号線・630号線沿線の利用 大竜地区450号線沿線 小山田バス停付近 都立公園山一つ 里山全体 小山田緑地のの拡大
②情報を発信し地域をつなぐ機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
町内会（施設管理者） 交流センターNPO 民間事業者 市	市民（来訪者）	ホームページ SNS (insta twitterfacebook etc) 地域をPRするウェブサイトコンテスト 優勝 ポスターコンテスト（町田小山田里めぐりのポ youtube tiktok	HPの管理者（管理団体） JTB等旅行会社と提携（民間さん）とのコラボ	

**Bグループ**

選んだテーマ③里山を楽しむことができる（木工体験や農業体験、環境学習に必要な）機能

だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地域住民 施設の経営者（管理者） 協同組合 木に詳しい業者 学校関係（幼～大学） 行政、町内会、教育関係 施設管理者 地域団体 音楽のプロ 各種組合 商工団体	地域住民 市外在住の方 マイホームを探している人 地域の子どもや保護者 来訪者（市内・市外・子ども） 来訪者（地域住民含む） 市内在住の方	音楽にあふれた里山（音楽活動） スポンサー企業の出店 加工品の即売会 農家による即売会 マイホーム用大黒柱を選ぶ伐採体験 伐採木を利用した木工体験 援農ボランティア 大型農産物直売所 苺、西瓜、サツマイモ等の生産 マウンテンバイク 農業体験 里山散策（有料） 総合案内所としてフィールドと連携をし、各種 マルシェ レストランによる屋台 コーヒーづくり（クロモジ） メンマ等加工食品の体験 リス園やタヌキ園 大道芸、漫才 ホタルの観察会 幼稚園や保育園 薪で沸かすお風呂 宿泊施設 市民農園（有料）	道路 各形状の部品作成をする（機械・部品） 拠点となる施設 建物（ステージ） 畑・苗の準備（土地・費用） 調理場 販売施設も含む 使われていない畑 農業者の協力 運営者、地域住民の理解 駐車場 竹林 案内所の施設及び体験施設 体験ができる工房	森の中 大きい道路沿い

②情報を発信し地域をつなぐ機能

だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
来訪者 施設管理者 音楽イベントの場合－プロジェクト 地域の方及び地域団体	拠点・体験内容 各学校 市 来訪者及び外部の方 耒陽者 音楽関係者 協賛企業 組合	拡散する 宣伝する SNS ホームページ作戦 市のHP 地域の魅力と地域の活動及び小山田の	バズリやすいモノ PCメンテナンス費用 森の中に何の木があるのかを把握する（その木 スマホのアプリ ワラアート	SNS メディア テレビ

Cグループ				
選んだテーマ③里山を楽しむことができる（木工体験や農業体験、環境学習に必要な）機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地域団体 施設管理者 NPO法人鶴見川源流ネットワーク 東京都青少年育成の会 地域の会 会員 民間企業 自然保護団体 市 地域住民 教育・研究（里山保全）	来訪者 子どもたち ノカンゾウの活用(鑑賞) ボランティア団体 民間企業 地域住民 流域思考に興味を持つ団体 住民 学校	簡単な木工指導 イベント（レンタル農園） 小山田特徴を集約するセンター機能 竹林で竹の整理 竹を使った作品作り 農場 畑 田 お祭り 耕作放棄地を預り誰でも気軽に野菜作りを楽しむ 椎茸栽培 山林で炭焼き、薪作り 市民農園の開設 課外授業 収穫体験 野菜等の育苗、収穫体験 アミューズメント（アスレチック等） 研修センター 地域貢献 米作り 保養所 遠足 椎茸の原木 竹炭づくり	木工所と指導者 民間事業者 さまざまな利害関係者調整を行う組織づくり 市が保有する農地で農家または農業指導者 ボランティア団体	小山田緑地の飛び地をつなぎ一体化させる 小山田の広域を全体最適する計画と付合したセンター 小山田緑地 小山田緑地駐車場 野中谷戸奥 山林作業場 東谷戸には駐車場がなく、近くの東京都緑化セ 東谷戸で野菜づくり 上小山田バス停 バイオエネルギーセンター 小山田神社（蓮畑） 野津田公園 忠生630号線 奈良ばい谷戸 炭焼き体験 休耕田利用 まとまったところ 長池公園とつながる場所 おこしの森と近辺の市保有の農地 水田体験場所 まとまったところ

Dグループ				
選んだテーマ④物品の販売や商品の開発などを行う機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地域住民 年齢層（老人会） 施設管理者 地域団体・組織 来訪者 民間事業者 NPO JA 地域の団体	来訪者 限定なし 地域住民 誰でも	竹細工（町田オリジナルデザイン） 竹中心の飼料（パンダ風） 間伐材を利用した木工細工 木材の利用（堆肥・ペレット） 板・材木としての販売 キノコ原木づくり 三つ葉の栽培→ふたたび 竹からできるもの－竹炭→匂い色吸着 竹酢 洗剤 すいとん 焼き餅 小麦の栽培→桑入りうどん 農産物（野菜）の販売・加工・生産（体験）	菌→市職員 竹→民間 ？の持ち主 全体を運営する組織 ボランティア（共感する） 釣り堀を作るには川の近く 地域住民による団体の組織化 地域に在住する専門家のネットワーク化 コラボ 農業経験者が研修・体験 JA NPO ビニールハウス	道路の近い場所駐車場がとれる 素材の調達地の近くだとお良い 体験が近くでできる場所だと良い 資材の運搬ができる場所 まとまった広さのとれる場所
②情報を発信し地域をつなぐ機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
上と同じ	農協に 市内・市外・都外→全国	年間の活動内容の発信 HP, 掲示板に貼る（小田急（新宿など）、役所、学 農業体験 工作体験 青空市の開催 地場産野菜をレストランに搬入 回覧板 木材、山歩き	ポータルサイト JA コラボ インフラ 体験マップの作成 Youtube TV JAのお店 他地域の物産展と交換出店 SNS 農産物マップ ネット販売 都市の物産展	

Eグループ				
選んだテーマ ①飲食や休憩、交流ができる機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地元 民間業者 ボランティア	住人 ハイカー	お茶 野菜を売る 食事	椅子 テーブル 事業計画 行政上の意思 地域に必要な作業 道 休憩所 学習 共同作業－道普請	630号線 小山田バス停の近く
②情報を発信し地域をつなぐ機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
内外の子ども 内外の大人	内－地元 昔から住んでいる人 内－これから住もうとする人	案内板－バス停 竹藪の手入れ等のイベント 囲炉裏・堀こたつ・酒 情報の定期的な更新  地図情報  一部の人しか知らないこと 創造作業 駐車場のルールを変える イベント事業 物理的な看板	デジタル技術 一定の情報量 焚き火－ワクワクする 資金 ルール－やっていいのか、みんなが来ていいのか。	田中谷戸周辺 トンボ池

Fグループ				
選んだテーマ ③里山を楽しむことができる(木工体験や農業体験、環境学習に必要な)機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
地域住民 山林管理者 地主 里山管理者 住民+市 ボランティア(レンジャー企画) 結の里(草花情報) WSを企画する人 イベントの主催団体(住民、市、N 専門家(歴史のことなど) 運営事業者 民間事業者(企業) マイスター(木工など)	来訪者(南多摩エリア) 23区(山のないところ) 地域住民(施設で働く、楽しむ 子ども 小中学校生徒(学習) グループ	里山の歴史を知る講座、展示 里山の景色を楽しむ 里山でぼーとする。 木材工作 木工細工 竹細工 鳥と草花を楽しむ 観察会(草花、バードウォッチング) 環境学習(通年で実施する) 冒険遊び場 里山生活体験ワークショップ(薪割り、炭焼 マウンテンバイク体験会 牧場(ヤギ、ウサギ、牛との触れ合い) 散策路ツアー	アクセス-道路整備 忠生579号線の完成 町田市の整備計画 循環バス 都計道3・4・40号線多摩市までの貫通 広い駐車場絶対必要 ビジターセンター(作業場) 明るい山林(木を切る)自然観察の森 知識・技術のある人材(地域、団体) 市有地民間事業者に提供 人材(HPをつくる人、地域にいるかも) 小田急多摩線小山田駅 拠点にPCデスク、事務スペース 休憩所	忠生579号線 忠生630号線(大膳クラブのとなり) 小山田バス停付近 いま集会所のあるところ 野中谷戸に牧場 あえて東谷戸に モノレールも多摩線延伸にも?らない 小山田会館 土地がない 都計道3・4・40号線
②情報を発信し地域をつなぐ機能				
だれが	だれに	なにをする	実現するために必要なモノ・コト	どのようなところ
施設管理者(NPO民間事業者 町田市里山情報発信部門 現地の人 レンジャーが情報発信(日々のこと を更新)	関心のある人 市民 世界(インターネット)	他地域にないものであれば口コミで広がる SNS イベント情報を発信 町田市ホームページ里山コーナーを掲載しリン クを貼る 情報発信って必要なの? 広報まちだ→里山情報提起掲載 回覧板 テレビに出る→ネタになるプログラム 町田子育てサイトの里山版ようなサイト	人材(HPをつくる人-地域にいるかも) ビジターセンター 拠点にPC デスク 事務スペース	